

第 186 回 競技委員会 議事録

1. 日 時 : 2007 年 8 月 1 日 (水) 18 時 00 分 ~ 20 時 30 分
2. 会 場 : 連盟本部事務局
3. 出席委員 : 平田委員長、清水、古田、斉藤、西田、寺本、田中、仲村
以下委任状 : 林、佐々部
欠席 : 山菅、オブザーバー : 大政
委員総数 11、定足数 8、出席 10 (内委任状 2) で成立
4. 議事の経過及び結果 : 平田委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号 議案 コンベンション小委員会報告について

- 議案 1. 松本直人さんからの問い合わせの検討
簡易マルチ 2 D であってもリスト D となることで了解された。
- 議案 2. 勝部俊宏さんからの問い合わせの検討
会報での啓発よりも、ディレクターへの啓発を先に行うこととし、
具体的には新規則改正のさいに合わせて行うことで了解された。
- 議案 3. 新コンベンションリスト
新コンベンションリストを
新 D : WBF カテゴリー 3 (OLYMPIAD 予選相当)
新 E : WBF カテゴリー 2 (OLYMPIAD KO、Bermuda Bowl 予選相当)
新 F : WBF カテゴリー 1 (Bermuda Bowl KO 相当)
とする。
新 D 適用競技会は、複数フライトの最上位フライトを原則とする
それにあわせて、文部大臣杯関東 Swiss 予選および渡辺杯をリスト C とする。また日本リーグ II 部をリスト E とする。
主催者はコンベンションリストの制限を下にすることができる。
リスト C の競技会をリスト D 以上の制限にする場合は競技委員会での許認可制とする。
新コンベンションリスト D は、事前提出の義務があるものとする。
現状の「事前提出カード」は使用不可とする。
オフィシャルサンプルディフェンスの持ち込みを不可とする。
ただし HAND BOOK には現在のオフィシャルサンプルディフェンスを掲載し、さらに JCBL ホームページから ACBL ウェブサイト・ディフェンスサンプルの頁にリンクを張ることとする。
現状のリスト D 以上を開催している主催者の横浜 B C、名古屋 B C、大阪 B C に聞き取りを行ったところ、基本現状通り。大阪 B C は当日エントリーの柳谷杯関西予選および大阪府知事杯はリスト D からリスト C とするとのことを報告した。
クラブリーグおよび I M P に関してはセンター会議の議題としてもらうよう高田馬場 B C に要請することとした。
- 議案 4. NEC 杯に関する提案
予選は WBF カテゴリー 3 (現状通り)。決勝を WBF カテゴリー 2 に上げること NEC ブリッジフェスティバル組織委員会に提案することとした。
- 議案 5. リスト D までのサイキック禁止規定について
リスト D 以降は WBF のサイキックポリシーに合わせる。
現状のリスト D 以下での規定はリスト C 以下として継続する。
また、Weak2 に対するアスキングビッドでのサイキックに関しては JCBL HANDBOOK 59 頁、コンベンションリスト補足に、「ウィーク 2 オープンに対する 2NT レスポンスなどのアスキングリレーはインビテーション以上のハンドの強さを保証すること(リスト C 以下の競技会に適用)」を追加することで了解された。また合わせてコンベンション規定も書き換えることとする。
- 議案 6. グラー氏提案の使われないリスト E について
提出されたサマリーが WBF ポリシーに沿っている場合には、その使用義務を問うことは出来ない。ということで了解された。ただし、リスト D のシステムにも提出義務ができるため、提出したサマリを使用しないペアは自動的にリスト C 以下を使用することとなる。
提出できるサマリーは、チーム戦 4 部、ペア戦 1 部までで合意した。

議案 7. リレーシステムの定義の表現が統一について
2007 年版ハンドブック、46 頁 5. の記載は削除。58 頁 5. の記載
を採用する。
関連して、46 頁「リスト D までは」→「リスト C までは」に変更。
さらに、46 頁 4. を削除する。

第 2 号議案 入れ違いボードの処理
P A B F において、アンソニーチン氏より、入れ違いのあったボードのチー
ム戦の処理に関してキャンセルボードにしたいがどうかという提案があつた
ので、J C B L でも決めておく必要があるかを確認した。国内競技会におい
ては現状通り両チーム+3IMP で処理することで問題ないということで合意し
た。

第 3 号議案 平日開催の多セッション CCG 及びローカルについて RP の計算に平日開催係
数を掛けなくてよい事をあらためて確認した、次回マスターポイント規則の
改正のときにあらためて表記を訂正することとする。

第 4 号議案 下記のセクショナルディレクターを承認した
難波 園子 140063 C-00591
推薦人 田村 徹 81667 S-00069

第 5 号議案 ビディングボックス収納のタイミングについてその他議案
ビディングカードをビディングボックスへの収納の時期を、オープンニング
リードが表向きになってからにすることで合意した、54-4 号の会報の連盟公
報で公示することとし、2008 JCBL HANDBOOK の競技会の手続きにもその旨
記述することとした。

参考としてルール委員会より提示のあった 2 カ国の規定を掲載する
イギリス

7 B 7 At the end of the auction the calls should remain in place until the opening lead has been
faced and all explanations have been obtained, after which they should be returned to their boxes.
If the hand is passed out then the passes are immediately returned to their boxes.

オーストラリア

11.2 When screens are not in use, all the bidding cards should remain on the table until after the
opening lead has been faced.

第 6 号議案 その他議案
なし

次回競技委員会は 10 月 17 日（水）18 時 00 分から開催する。

以 上